

募集案内【M1 対象】

1. プログラム概要

卓越大学院プログラム（プログラム名：「超スマート社会」を新産業創出とダイバーシティにより牽引する卓越リーダーの養成）では、令和 5 年 4 月および令和 4 年 10 月の本学修士課程（博士前期課程、専門職学位課程を含む）入学者を対象に、プログラム履修生を募集いたします。

東京農工大学は「世界が認知する研究大学へ」という目標を掲げ、農学と工学の高度大学院教育によって新産業創出を担うイノベーションリーダーを養成することに力点を置く理系研究大学として教育研究を推進してきました。農学と工学を基盤とし、Society 5.0「超スマート社会」を実装できる卓越した高度博士人材を輩出し、社会的課題の解決につなげるべく設立されたのが本学の「卓越大学院プログラム」です。本プログラムは、“農工協創”、“新産業創出”、“ダイバーシティ”をキーワードとし、民間企業や海外研究教育機関等と協力しながら、修士（博士前期）課程から博士（博士後期）課程までの 5 年一貫教育を行っています。そして、“農学および工学の先端知識と技術の融合や協創”に関する研究の推進、超スマート社会構築を担う高度博士人材の養成に取り組んでいます。

プログラム履修生は、各自の専門分野における研究進展のための支援、俯瞰的な視野を養成する PBL (Project Based Learning) の実践、海外留学や国際学会への参加経費助成など、研究力を伸ばし国際社会で専門家として活躍できることをめざした各種の補助を受けられます。また、研究成果の民間活用について本プログラムの連携企業等から学ぶ機会や、それら企業との関係をもつ機会も用意されています。さらには、「コンピテンシー評価」により、既存の大学院にはない人間的能力の強化・評価を取り入れ、それらの成長をポートフォリオシステムで視覚的に把握するなど、卓越した博士人材としてのキャリアアップを確認しながら学ぶことができます。

本プログラムの趣旨を理解し、博士課程への進学にも興味をもつ学生の応募をお待ちしております。

目標とする人材像

- ・ 農学および工学の先端知識や技術の融合・協創により、さまざまな社会課題の解決に挑戦する人材
- ・ イノベーションに必須なダイバーシティ（多様性：性差・国籍・社会経験・考え方など）強化に貢献する人材
- ・ 俯瞰力、独創性、ダイバーシティ理解、国際競争力と高度専門性を備えた卓越リーダー

2. カリキュラムと修了要件

各専攻の修了要件の他、卓越大学院プログラムが提供する以下の科目と単位を取得し、Qualifying Examination(QE)※に合格することをプログラムの修了条件とします。取得総単位数は QE1 審査にあたっては 8 単位以上、QE2 審査にあたっては 10 単位以上です。プログラムの履修は、令和 5 年 4 月から開始します。

QE1 審査前

科目区分	必要単位数	概要
農工協創基盤科目群	2 単位以上	農学の視点と工学の技術を融合し新産業創出を可能にする人材となるための基盤となる知識を習得する
産官学連携科目群	2 単位	新産業創出を担う人材として必須となる知識や経験を獲得する
国際科目群	2 単位以上	新産業創出を担う人材として必須となる国際的な観点からの知識や経験を獲得する
農工協創専門科目群	2 単位以上	新産業創出に不可欠な農学と工学の専門的な知識を習得する
計	8 単位以上	
QE 1 審査		卓越プログラムでの中間審査

QE1 審査後

農工協創産官学連携国際科目	1 単位以上	新産業創出人材として成長するために産官学や国際連携に関する高度な知見を学ぶ
農工協創産官学連携国際演習科目	1 単位以上	新産業創出人材として成長するために産官学や国際連携に関する高度な実践的能力を獲得する
計	2 単位以上	

QE2 審査

最終審査	総計 10 単位以上	卓越プログラムでの最終審査
------	------------	---------------

※QE について

Qualifying Examination (QE) は、原則として修士（博士前期）課程 2 年次（QE1）と、博士（後期）課程 3 年次に行います（QE2）。

3. 応募資格

令和 5 年 4 月または令和 4 年 10 月に本学大学院修士課程 1 年次（博士前期課程 1 年次、

専門職学位課程 1 年次、BASE 学府 5 年一貫制 1 年次を含む）に入学し、修士号取得後は引き続き本学博士課程又は博士（後期）課程へ進学することにも興味がある学生で、本プログラムの教育・研究理念に合致する目標を持つ方。

※応募にあたっては、主指導教員の承認を得て、研究内容の確認、及び、面接試験を受験する旨などの連絡を必ず行ってください。また、プログラム学生に採用された場合は、各指導教員へ連絡し、今後の研究計画等について打ち合わせを必ず行ってください。

※最終選考に合格し本プログラムの養成対象者となった学生は、所定の科目を受講し、一定の単位数を取得後に、QE2 に合格することで、学位記にプログラム修了が併記されます。

4. 各種支援

卓越大学院プログラムでは、各種の経済的支援制度が用意されています。また、研究費獲得や民間企業等との共同研究の実施に関するアドバイスなどが受けられます。支援内容については、年度により異なりますので、随時、E メール等による案内を確認してください。

5. 応募・選考スケジュール

学生向け説明・相談会：令和 5 年 2 月 9 日（木）および令和 5 年 4 月 11 日（火）いずれも 12:10～12:50（本プログラム HP の学生募集欄（<http://www.wise.tuat.ac.jp/recruitment/>）も確認ください。）

応募書類受付期間：令和 5 年 3 月 3 日（金）～4 月 18 日（火）午前 9:00 まで

第一次選考（書面審査）の合格発表：令和 5 年 5 月 1 日（月）頃

第二次選考（面接審査）の実施日：令和 5 年 5 月 10 日（水）～12 日（金）に対面で実施します。場所、時間帯、発表方法などの詳細は、書面審査の合格者へ個別に通知します。

第二次選考（面接審査）の合格発表：令和 5 年 5 月 15 日（月）頃

選考結果の開示：E メールにて連絡します。

（なお、本プログラムの新入生オリエンテーションは、令和 5 年 5 月 22 日（月）15:00～17:00 に実施予定です。）

6. 選考基準

第一次選考：書類審査

応募申請書の内容と学部での成績等から総合的に評価する。

第二次選考：面接審査

面接審査では以下の内容に関する 8 分間のプレゼンテーションおよび 7 分程度の質疑により、学力・研究能力とともに、本プログラムへの理解と意欲などについて総合的に評価する。

- ① 本プログラムへの志望動機
- ② これまでの研究内容および今後の研究計画の概要
- ③ 本プログラムでの学びを踏まえた今後の研究展望
- ④ 本プログラムを修了し、学位を取得した後の将来構想

7. 採用予定人数

20 名程度

8. 応募方法

Google Form (<https://forms.gle/8HYFbqUCaigpTqZt8>) にて応募してください。応募者は、自身の氏名、所属、連絡先その他、指導教員の氏名と連絡先等を記入し、①～④について記述したファイル（ファイル名と本文の双方に氏名を明記。書式は自由。）を PDF に変換後、アップロードしてください。

- ① 本プログラムへの志望動機（600 字程度）
- ② これまでの研究内容および今後の研究計画の概要（600～1000 字程度）
- ③ 本プログラムでの学びを踏まえた今後の研究展望（600 字程度）
- ④ 本プログラムを修了し、学位を取得した後の将来構想（600 字程度）

他大学出身者は最終学歴の成績証明書を出身大学から取り寄せ、必要に応じてスキャンし上記の Google Form にアップロードしてください。成績証明書の準備が間に合わない場合は、代替のもの（成績表示画面のスクリーンショットなど）があればそれを提出し、その旨を備考欄にお書きください。その後証明書が用意できたら、こちらの Google Form（別 URL：<https://forms.gle/f8V2aJS3PryrGQ6X7>）にアップロードしてください。なお、本学学部出身者は、学内の事務にて成績を確認しますので、成績証明書の提出は不要です。

9. 問い合わせ先

（応募に関する事務手続き等）

東京農工大学 教学支援部 本澤（もとざわ）

TEL：042-367-5545

Mail：girkikaku@m2.tuat.ac.jp

（卓越大学院の具体的な内容等）

卓越大学院プログラム特任教員オフィス

府中オフィス TEL：042-367-5618 小金井オフィス TEL：042-338-7773

共通 E-mail：tuat-wise@m2.tuat.ac.jp

プログラム HP：<http://www.wise.tuat.ac.jp/>